



法人こおりやま

2025. 3

第561号



梅の里(郡山市西田町)

[コピー・転載禁止]

～従業員向けの情報も満載です。 事業所内にて御回覧下さい～



公式 Instagram

公式 Instagram
Facebook
始めました



Facebook

インターネットセミナー 600タイトル以上のセミナーが無料で受講できます

郡山法人会のホームページから無料でセミナーがご覧いただけます
<http://www.koriyama-hojinkai.or.jp>

無料

で検索いただけます

会員は専用IDとパスワードを入れてログインする事により多くのコンテンツが視聴可能となります。

ログインIDとパスワードを入力してログインしてください

ID・パスワードは
会員ID: 1101
パスワード: 1005

目次

<p>税務署ニュース 日々の業務をデジタル化で効率アップ・・・2</p> <p>法人事業者用 デジタル化チェックシート 機先を制す！変化に気づく経営・・・4</p> <p>税のミニ通信 グループ法人税制と グループ通算制度 新入会員紹介 労働者は働くから労働者なのだ！ トピックス</p>	<p>・・・3</p> <p>・・・4</p> <p>・・・5</p> <p>・・・6</p> <p>・・・7</p>
--	---

税務署ニュース

日々の業務をデジタル化で効率UP!

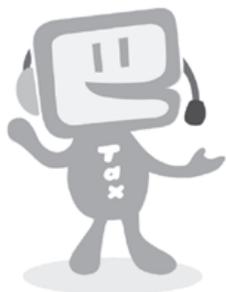
日々の業務を



デジタル化で効率UP!

取引や会計などの業務のデジタル化が進めば・・・

- ✔ 単純ミスを防いで
正確性と効率 UP!
- ✔ 書類の保存
コスト DOWN!
- ✔ 経営の
高度化!



会計ソフトの導入等で
IT 導入補助金の利用も!

詳しくはこちらから



国税庁では日々の取引や会計などの、業務のデジタル化促進に向けて取り組んでいます

国税庁

<https://www.nta.go.jp>

法人事業者用 デジタル化チェックシート

このチェックシートは、事業者の皆様のデジタル化（ペーパーレス、キャッシュレス）についての状況を自己チェックしていただき、デジタル化を進めるに当たっての各ツールや手続きに関して理解を深めていただくことを目的としたシートです。各手続きの詳細は、下段の二次元コードから各HP等をご覧ください。

1 ペーパーレス

チェック項目		チェック欄			
✓	請求書等のデジタル化	<input type="checkbox"/> 手書き	<input type="checkbox"/> Excel等の表計算ソフト	<input type="checkbox"/> 自社・市販のソフトウェア	
✓	帳簿のデジタル化	<input type="checkbox"/> 手書き	<input type="checkbox"/> Excel等の表計算ソフト	<input type="checkbox"/> 自社・市販のソフトウェア	
各ツールの導入	クラウド会計ソフトの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み	
	デジタルインボイスの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み	
	全銀EDI (DI-ZEDI)の導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み	
	AI-OCRの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み	
	電子帳簿保存法				
	各制度別	電子取引データの保存	<input type="checkbox"/> 対応中（猶予措置）		<input type="checkbox"/> 対応済み
		帳簿・書類のデータ保存	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 適用済み（ <input type="checkbox"/> 優良帳簿）
スキャナ保存		<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 適用済み	
	IT導入補助金の申請	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 申請済み	
✓	税務手続きのデジタル化				
各税務手続	法人税申告	<input type="checkbox"/> 紙提出	<input type="checkbox"/> e-Tax	<input type="checkbox"/> ALL e-Tax	
	消費税申告	<input type="checkbox"/> 紙提出		<input type="checkbox"/> e-Tax	
	年末調整	<input type="checkbox"/> 紙作成	<input type="checkbox"/> 一部電子化	<input type="checkbox"/> 完全電子化	
	法定調書	<input type="checkbox"/> 紙提出		<input type="checkbox"/> e-Tax	
	納税証明書	<input type="checkbox"/> 紙申請（紙受取）	<input type="checkbox"/> e-Tax申請（紙受取）	<input type="checkbox"/> e-Tax申請（PDF受取）	

2 キャッシュレス

チェック項目		チェック欄		
✓	支払全般			
	クレジットカード決済の導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
	インターネットバンキングの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
	Peppol・全銀EDIの導入	<input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 導入済み
✓	電子納税（キャッシュレス納付）			
各税目別	法人税	<input type="checkbox"/> 紙の納付書	<input type="checkbox"/> ダイレクト納付 <input type="checkbox"/> インターネットバンキング	<input type="checkbox"/> クレジットカード
	消費税	<input type="checkbox"/> 紙の納付書	<input type="checkbox"/> ダイレクト納付 <input type="checkbox"/> インターネットバンキング	<input type="checkbox"/> クレジットカード
	源泉所得税	<input type="checkbox"/> 紙の納付書	<input type="checkbox"/> ダイレクト納付	<input type="checkbox"/> インターネットバンキング

詳しく知りたい方はこちら

クラウド会計・AI-OCR	デジタルインボイス	電子帳簿保存法	ALL e-Tax	キャッシュレス納付	電子納税証明書
					

先を制す

変化に気づく経営

経営コンサルタント 脇田孝助

「環境の変化に対応したもののだけが生き残る」という言葉をダーウインが進化論で伝えていきます。

この言葉は、経営の舵を取る経営者にとって心響く言葉で、「変化を先取りして対応した経営こそが生き残る」と理解できます。

経済の現状はどうなのかを探ってみると、賃金アップ、コスト高騰によって、川下（消費者）に向かって価格転嫁が進んでいます。

2025年春には持続的な賃上げを後押しする観点から、中小企業が価格転嫁しやすい環境を整備する狙いの下請法改正案も国会で論議され、価格転嫁を推進する流れとなっています。

これらは、長らく続いたデフレからインフレへと社会が変化する潮目であり、時代が大きくシフトしつつあることを物語っています。

1990年代初めの資産

バブル崩壊後にインフレ率が低下し、そして90年代末にはデフレ、すなわち「物価が持続的に下落する」状態に陥ったことが認識されました。その後30年以上はデフレ経済の下にあり、ここに来て一転する場に経営は立っているのです。

どのように長き慣習から脱し、経営の舵取りをしていけばいいのでしょうか。その前に、インフレションとデフレーション、そして物価上昇とともに経済が停滞するスタグフレーションという3つの経済用語を簡単におさらいしておきます。

インフレーションですが、上向きの経済下で商品やサービスの需要が増大し、供給が追い付かずに物価が上昇する経済状態です。

逆に、デフレーションは物価下落が続く、供給が過剰になり、売り手は価格を

下げざるを得ないために、物価はさらに下落していく状態を指します。

厄介なのは、スタグフレーションです。物価は持続的に上昇するものの、景気・経済が後退局面に陥り、失業率とインフレ率は上昇していく状況です。

スタグフレーションが起きる原因の代表的例として、文献では、第一次オイルショックを例として、原油供給制限や価格引き上げなどで狂乱物価をもたらしたところや、円安に伴う資源価格や輸入価格の上昇により、景気後退の局面に入った日本の過去の事例を指摘しています。

今、中東での紛争や長きに渡るロシアのウクライナ侵攻、日米での金利差、米新政権による関税引き上げなど、スタグフレーション入りしかねない懸念要素があります。

デフレーションを脱した日本で、今、インフレーションかスタグフレーションのどちらに進むのか岐路に立っているとも解されます。

経営環境は経済の動きによって一変しかねないものがあり、賃上げや円安での価格転嫁の推進で、長きに渡るデフレを脱し、回帰することはないと断定することはできないと思われま

す。しかし、経営の現場では一斉に価格転嫁が始まり、それを受容する消費者の姿を見るにつけ、現実的には、インフレーションかスタグフレーションに向かっていくことを想定した経営の取り組みが欠かせない局面かと思えます。

加えて、我が国は人口減少・少子高齢化に覆われる社会が確実視されており、消費が萎んでいく一方で、人手不足、賃上げは進むものとみられています。「前門の虎、後門の狼」的な要素があり、経済の悪循環が始まりかねませんが、良きインフレ経済をと心から願うばかりです。

デフレの脱却からインフレへと向かう要素が強いと思われる今、経営者がまず取り組むべきはインフレに対応することだと思われま

す。製造・小売業であれば消費者から支持される商品開発、卸売業であれば仕入政策の強化、製造・建設業であればAI技術導入による省力化やIT技術者の確保など、顧客の声を反映した取り組みが欠かせないところとなつてきます。

同時に、いずれもがこれまでとは違った次元での対応だけに、コスト増となる資金調達策なども視野に入れた取り組みも忘れてはならないところです。

過日、続く温暖化で海水温が上昇し続ける状況で漁師が「かつて取れていた魚の量が取れんようになり、取れる魚種も変わってきた」としたうえで、「負けたくないから、今までやったことのないことをやったり、付加価値を高めるために活々の手法を変えたりして取り組んでいる」と伝えていました。

まさに、生き残るための「環境適応力」です。「変化を先取りして対応した経営こそが生き残る」のです。

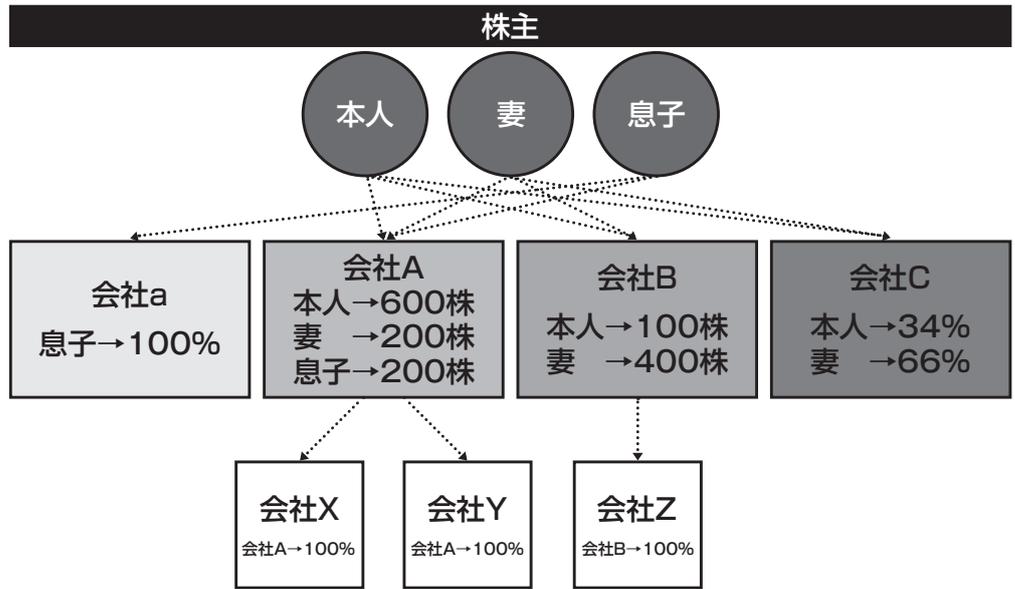
税のミニ通信

グループ法人税制とグループ通算制度

東北税理士会郡山支部
税理士 郡司 拓也

近年、経営者年齢の高齢化に伴う後継者不足により、事業承継手段の一つとしてのM&Aが活発に行われております。これに伴い、100%の資本関係を有する企業グループが増加傾向にあります。当該企業グループには、『グループ法人税制』と『グループ通算制度』の2つの制度が存在します。

M&A等により関係会社が増加したことで以下のようなグループになっている会社は多数存在すると感じております。



ここで、100%の資本関係を有する企業グループ=『一の者が法人の発行済み株式もしくは出資の全部を直接もしくは間接に保有する関係』を言います。『一の者』については、個人(法人も含む)の場合、6親等内の血族、配偶者、3親等内の姻族や特殊関係者を含むものと考えられております。

よって、上記の図の場合、全ての企業が100%の資本関係を有する企業グループとなります。この場合、『強制適用としてグループ法人税制』の制度が存在し、『選択適用でグループ通算』制度が存在します。

各企業グループの成り立ちによりますが、多くの場合、この企業グループ間で債権債務が存在します。そういった際に、グループ法人税制を利用し債権債務を整理することでグループ内の各社における組織再編等の意思決定の迅速化を図る方法があります。

ここで、2つの制度の違いは、簡単に説明すると以下の通りです。

上記の違いを踏まえると、赤字の会社と黒字の会社が入り混じっている際には、グループ通算制度を利用することが望ましいが、各種制限もあるので…顧問税理士に相談して下さいといったところです。

項目	グループ法人税制	グループ通算制度
制度の適用	強制適用	選択適用
適用対象	100%の資本関係を有する企業グループ	100%の資本関係を有する企業グループ
納税単位	単体法人	グループ内での損益通算、税額調整後、単体法人
事業年度	各法人の決算日	親法人の決算日
グループ内、損益通算	なし	あり
グループ内、資産の移転	譲渡損益繰延	譲渡損益繰延
グループ内、寄附金	益金損金不算入	益金損金不算入
グループ内、配当	益金不算入	益金不算入

令和6年 新入会員のご紹介

ご入会いただきました会員の皆さまをご紹介します。

	事業所名	住所	業種
1	情報コネクト(株)	喜久田町	電気工事業
2	花ごやたけい	安積町	小売業
3	ECCベストワン郡山安積校	安積町	教育
4	(株)み・らいとプランニング	緑町	不動産管理業
5	司法書士法人 あおい法務事務所	常葉町	司法書士
6	フォレストクリエイイト(同)	船引町	林業
7	(株)青葉工測	常葉町	建設業
8	(有)国分測量設計事務所	桑野	測量設計
9	(株)ste	大町	サービス業
10	(株)大安エステート	三春町	不動産業
11	日本セイナル(同)	船引町	運輸
12	やまなみ(株)	船引町	ソーラー発電売電
13	桜優工業	三春町	建設業
14	佐々木工務店	昭和	建築工事業
15	(株)イーライフたむら	常葉町	福祉用具 レンタル・販売
16	(同)一葉工業	大槻町	とび・土木工事
17	(株)NCI	昭和	労働者派遣事業
18	ホープ工芸	喜久田町	看板業
19	Dive Design your hair	朝日	美容業
20	(株)中宏	清水台	eスポーツ、レンタカー、 太陽光発電、 自動車リース業
21	(有)工房光喜	安積町	電子部品製造
22	(株)シーテック	開成	定期清掃業
23	(株)oneself	香久池	建設業
24	みよた社会保険労務士法人	朝日	社労士
25	(株)福島輸送	田村町	運送業
26	SANKEI(株)	富田町	土木
27	五十嵐理容室	安積	理容業
28	(株)しんめい	駅前	小売業
29	お魚台所 さしす	富田東	飲食業
30	(有)肉のニッタ	虎丸町	食肉、総菜加工、 小売業
31	阿部商事(株)	御前南	不動産業
32	(株)三善	御前南	不動産業
33	(株)Y'sカンパニー	御前南	不動産業
34	(一財)あんしん財団福島支局	清水台	特定保健業
35	クレリア	亀田	広告業
36	(株)エフエム福島	神明町	一般放送事業

	事業所名	住所	業種
37	(有)細山工業	日和田町	管工事
38	(有)中央塗装	富田町	塗装業
39	(有)奏建設	日和田町	建設業
40	(一社)香音	桑野	文化振興
41	(株)アライズゲート	駅前	小売、飲食
42	(有)東北デザイン	富久山町	広告看板業
43	(有)福友建設	日和田町	建設業
44	刻書クラブ(株)	富田東	不動産業
45	富士和工業(株)	安積	建設業
46	(株)レーヴェ	安積町	建設業
47	Pure Lucra	富田東	エステ
48	アルトルイズム(株)	富久山町	飲食業
49	うるこや分店	小野町	飲食業
50	(有)衛生処理工業	小野町	一般廃棄物 収集・処理業
51	(株)N	香久池	建設業
52	(株)ネオコネクト	中町	障害福祉サービス
53	(株)創現	大越町	製造業
54	中華そば 我成(株)	芳賀	飲食業
55	(株)オプトテック	安積町	製造業
56	(有)光恵設備工業	静町	一般管工事業
57	(同)高橋事務所	亀田	建設業
58	(株)M.Sコーポレーション	中田町	石材業
59	(有)佐藤工務店	大越町	建築業
60	(株)建築なか村	小野町	建設業
61	ケイソク(株)	芳賀	販売業
62	滝田 健司	安積	不動産賃貸業
63	(有)重光自動車商会	安積町	自動車部品販売
64	ROAST BLUES	七ツ池町	飲食業
65	みらいと鍼灸接骨院	東原	鍼灸接骨院
66	(株)SENYO建設	富田町	建設業
67	玉川屋 藤澤	日和田町	飲食業
68	(株)石井商事	日和田町	スクラップ業
69	(株)たむら企画	大平町	飲食業
70	(株)ワークケア	喜久田町	販売業
71	(有)リオン	富田町	サービス業
72	(有)チェリー日火商会	神明町	保険代理業
73	(株)APT	菜根	建築設計業
74	(株)エコ	喜久田町	介護事業
75	(株)栗田	久留米	自動車整備業
76	(株)フォレストワークス	喜久田町	林業

労働者は働くから労働者なのだ



フリーランスライター 藤木 順平

この時期のカレンダーを見ると、今年のゴールデンウィーク(GW)は3日の憲法記念日から始まって過不足ない4連休。休暇申請の負い目を感じないぶん、ちょっと物足りないか。

5月1日は「労働者の祭典」メーデー。ではあるが、労働組合の最大組織「連合」はこの日ではなく(2001年から?)、4月の最終土曜日にやるが多くなった。家族で参加できる、ソフトなメーデーを狙ったものと聞いた。

筆者も数回、連合のメーデー中央大会を取材したことがある。そこで見たものは、前時代的な「経営者と対立!」とか「労働者の権利を…」なんていう殺気立ったものでなく、あちこちに各労働組合の「のぼり旗」が立ち、出店が並んだお祭り。まさに祭典だ。言っちゃ悪いが、地方から参加の人たちは「ついでにみんなで東京見物を…」という雰囲気もあり、注目度が低く、影が薄くなったメーデーだが、これでいいのかもしれない。

「メーデーを祝日に」という声もある。しかし、GWにさらに休日を増やしてどうすんの? 「労働者は働いてなんぼ」の世界。働くのはいいこと(通勤ラッシュさえなければ)。働く喜びに加え、お給金ももらえるのだよ。



青年部会 新春研修会・新年会 開催

2月7日、郡山ビューホテルアネックスにおいて、(一社)福島県理学療法士会・認定理学療法士 physical partner mozutto (フィジカル パートナー もずっと)の佐藤純也氏を招き、「健康経営を支える! ~日常に取り入れる運動と休養~」と題し、青年部会新春研修会を開催した。

佐藤氏は理学療法士として総合病院でリハビリに従事し、その後「もっとずっと健康な体づくり」の想いでmozutto(もずっと)を起業。講義では、運動と休養についてお話しいただき、実際に体を動かしながら筋力や体の歪みをチェックし、座りながらできるストレッチを実践し改善方法を学んだ。また、腰痛や肩こりに悩んでいる方は「幸せホルモン」であるセロトニンがうまく分泌されていないかもしれない。セロトニンの分泌を増やすには、①朝の活動、②リズム運動、③セロトニンの栄養がポイントであり、朝に散歩することがおすすめとのこと。最後に「働く人の調整と働き方の調整のバランスを取ることで健康経営の向上につなげてほしい」と講義を終えた。

その後の新年会では、新入会員紹介やお楽しみ抽選会など、会員相互の親睦を深めた。



講師の佐藤純也氏

女性部会 会員卓話による研修会を開催

2月4日、郡山ビューホテルアネックスにおいて、第11回 会員卓話による研修会を開催した。講師は、女性部会会員の有限会社ヴォイス・プロ 代表取締役 吉田いくよ氏にお引き受けいただき、「自分は、自分の人生の主人公 ~聴いて、しゃべって、伝えた50年~」をテーマに講演し、部会員外34名が聴講した。

赤胴鈴之助などに出演していた女優の吉永小百合氏を見て、子供のころから「アナウンサーになりたい!」と、目標をかかげ、福島中央テレビのアナウンサーとして、出身地の高知県より郡山へ来て、50年。

色々なところへ行って、人、物との出会いによって、たくさんの言葉に出会うことが出来た。

言葉ひとつの使い方によって、自分自身も、伝える相手も気持ちが変わってしまう。言葉は大切なものでもあり、言葉の選び方、話す順序は日頃から考えさせられると語った。

最後に参加者全員で「最初の質問」長田 弘氏の詩の朗読をして研修会を終えた。

研修会終了後、新年会を開催。小林部会長が新年の挨拶をした後、本会の赤塚会長よりのご挨拶、青年部会菅野部会長の乾杯のご発声により開宴。和やかに懇談し、部会員同士交流を深めた。



講師の吉田いくよ氏



新春講演会・新春賀詞交歓会 開催

1月23日、新春講演会・新春賀詞交歓会を郡山ビューホテルアネックスで開催した。講師に元バドミントン日本代表の潮田玲子氏を招き、「失敗を成功に導くために ～スポーツを通して学んだこと～」と題して講演いただき、会員はじめ一般聴講者180名が来場した。

負けん気の強い潮田氏は、小学生の時に全国大会3位入賞、中学3年時には全国大会で優勝。しかし高校進学後、団体メンバーに選ばれるも結果が出ず、将来の進路を諦めかけたが、2年時の全日本ジュニア選手権で優勝を果たした。

その後ダブルスを経験し小椋久美子さんとのペア“オグシオ”として注目を浴びるも、世間と自分自身の間にギャップを感じていた心境や、五輪でメダルを獲得できなかったことが最大の挫折と当時を振り返った。

また、親が子どもに対し「過保護にならない・プレッシャーを感じさせない・自分で決めさせ否定しない」ことで、自信を積み重ねることが大切だと話した。

続いての新春賀詞交歓会は、赤塚英夫会長が新年のあいさつ、郡山税務署の板垣直人署長が祝辞を述べた。参加者は終始和やかに情報交換等を通じ親睦を深め、最後に恒例のお楽しみ抽選会を行い、当選発表ごとに大きな歓声上がり、大いに盛り上がった。



新春講演会



講師の潮田玲子氏



新春賀詞交歓会

田村支部 新春講演会・新年会 開催

2月6日、田村支部新春講演会を栄楽館(郡山市熱海町)で開催した。講師に田村森林組合代表理事組合長の矢吹盛一氏を迎え、田村支部会員20名が参加した。

講演では、森林組合の現状と活動内容や経営基盤強化の中身と今後のビジョンについて資料を使い分かりやすく説明した。参加者は森林組合の活動について理解を深め、地元森林資材の魅力を再認識できた有意義な時間となった。

講演会終了後、新年会を開催。箭内和夫支部長に新年のあいさつをいただき乾杯。和やかに交流を深めた。



講師の矢吹盛一氏



法人会の「経営者大型総合保障制度」は
1971年に創設されました。
想いをつないで50年。
これからも会員のみなさまと共に歩み、
企業保障の大きな傘で
会員のみなさまをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社
郡山支社/
福島県郡山市中町1-22(郡山大同生命ビル4F)
TEL 024-922-0860

AIG AIG損害保険株式会社
郡山支社/
福島県郡山市虎丸町24-8(AIG郡山ビル3F)
TEL 024-933-6211